

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金対象事業

令和3年度分事業評価

令和6年3月

安八町

事業名	①事業の概要 ②経費内訳 ③積算根拠 ④事業の対象	経済対策区分	事業開始	事業終了	計画額 (円)	事業費 (円)	交付金充当額 (円)	成果目標	成果及び評価 ①事業費の内訳 ②成果	評価及び課題 ①評価 ②課題
新たな公共交通確保事業	①名神高速道路安八 SIC から、名古屋までの高速バス乗降所付近に、駐車場、自転車置き場、バス停、防犯灯等を整備する。 ②工事請負費 ③直接工事費 1,680 千円 （造成、LED 防犯灯、自転車置き場設置） その他経費 1,400 千円 消費税 308 千円 ④住民	②-Ⅱ-6. 地方への人の流れの促進など活力ある地方創り	R3.4	R3.9	3,388,000	3,388,000	3,388,000	設定なし	①事業費の内訳 工事請負費 3,388,000 円 ②令和3年12月1日利用開始 車の駐車可能台数 25台 自転車の駐輪台数 7台 防犯灯設置 2基	①名古屋市への公共交通手段が増えたことにより、公共交通利用者の分散に繋がった。 令和3年11月利用者数 752人／月 令和4年11月利用者数 2,446人／月 （1,694人／月増） ②駐車場整備後の利用者の増加傾向から、感染リスクを避けるために電車などの混雑路線からの乗り換えが一定数あったと推測されるが、今後も安定的に路線を維持するためには、利用者増の取り組みや、事業者への補助などの検討が必要。
地方創生テレワーク推進交付金	①休館中の勤労青少年ホームを改修するとともに、テレワーク施設を設置し、コロナ過、アフターコロナにおける新しい働き方の体制整備、都市圏からの人口流入および企業誘致を進め、地域の活性化を目指す。 ②業務委託 ③外壁等修繕工事 39,029 千円 屋内運動場改修 20,971 千円 内装工事 35,519 千円 設備工事関連 17,773 千円 セキュリティ工事 4,500 千円 家具工事関連 14,500 千円 情報環境関連 12,108 千円 予備費 300 千円 諸経費 5,300 千円 プロモーション経費 5,500 千円 ④安八町勤労青少年ホーム	②-Ⅱ-6. 地方への人の流れの促進など活力ある地方創り	R3.4	R4.3	155,000,000	151,051,010	43,403,000	設定なし	①事業費の内訳 業務委託 勤労青少年ホームテレワーク化改修業務 148,617,700 円 （プロモーション） 1,485,000 円 合併浄化槽最終清掃業務 948,310 円 ② R4.4：テレワーク及び地域交流施設 「むすぶテラス」リニューアルオープン R5.4：指定管理者制度導入 【施設概要】 ・オープンスペース（22 席+28 席） ・多目的運動場 ・キッチンスペース（22 席） ・会議室 2 室（2 室・10 席+6 席） ・ワークスペース（28 席） ・サテライトオフィス（3 室×12 席） 【利用件数】 R4.4.1～R5.3.31 ・N=4,460 件（21,565 人） 【内訳】 ワークスペース N=697 件（1,198 人） サテライトオフィス N=3 事業所	①4月のオープン以降、月を追うごとに利用者が増加し、年間利用者数は20,000人を超えた。 サテライトオフィスは全室入居しており、ワークスペースの利用をも含め、企業間交流が期待できる ②施設利用は、町内や近隣市町の利用が多く、県外利用者は少ない。本施設を通じた移住施策も含め、情報発信に努めたい。
感染防止対策用品支給事業	①住民対象に、除菌用品等を配布し、感染症予防対策を徹底するとともに、コロナ対策の啓発を行う。 ②消耗品費 ③ウェットティッシュ 50 円×5.5 千個 除菌スプレー 295 円×5.5 千個 諸経費 95 千円 消費税 199 千円 合計 2,200 千円（千円未満切り上げ） ④住民	①-Ⅰ-1. マスク・消毒液等の確保	R3.9	R4.3	2,200,000	1,500,400	1,500,000	設定なし	①事業費の内訳 需用費 消耗品費 新型コロナウイルス感染症対応除菌用品作成 1,500,400 円 ②成果品 ウェットティッシュ 5,500 個 除菌スプレー 5,500 個	①広報あんばんち4月号とあわせて感染防止対策用品を約4,479セット配布し、会議等の出席者へも約1,021セット配布することで全世帯への周知や、広く感染症予防対策・コロナ対策の啓発を行うことができた。 ②全ての町民へ配布・啓発を行うことが難しい。
地域の名産品魅力発見事業	①特産品開発（農産物加工）拠点である、安八ふれあいセンターの調理室、トイレ等の設備を改修し衛生管理面を向上させ感染防止に努める。部会員が安心して農産物加工を行い、地域の名産品開発ができる環境を整備する。アフターコロナには地域団体やNPOとの連携を深め、まちの活性化に努める。 ②工事請負費 ③建築工事 7,240 千円 設備工事 4,256 千円 諸経費、消費税 2,408 千円 ④安八ふれあいセンター	①-Ⅲ-2. 地域経済の活性化	R3.9	R4.3	13,904,000	13,821,500	13,821,000	設定なし	①事業費の内訳 工事請負費 ふれあいセンター改修工事 12,980,000 円 ふれあいセンター改修工事（第1回変更） 841,500 円 ②ふれあいセンターの改修により、衛生管理面が向上し、令和5年度における農産物加工品の販売実績が33%増加（対前年比）	①農産物加工品の販売実績が増加したことにより地域の魅力を発信する機会が増え、まちのPRや活性化が図られた。 ②特産品開発（農産物加工）に携わる部会員の減少や高齢化が進んでいるため、地域の団体等との連携を深めることで新たな会員の確保に努めたい。

事業名	①事業の概要 ②経費内訳 ③積算根拠 ④事業の対象	経済対策区分	事業開始	事業終了	計画額 (円)	事業費 (円)	交付金充当額 (円)	成果目標	成果及び評価 ①事業費の内訳 ②成果	評価及び課題 ①評価 ②課題
学校給食食器購入事業	①学校給食食器の老朽化が激しく、キズが多くあり消毒等を徹底して利用している状況である。今回、新しくコーティングがされた食器を購入することにより、衛生管理面の向上をはかり清潔で安心な給食を提供する。 ②消耗品費 ③ボール 4,560 枚 3,538 千円 深皿 2,570 枚 2,361 千円 菜皿 2,570 枚 1,940 千円 計 7,839 千円 園児用 茶碗 420 枚 431 千円 箸 420 膳 134 千円 箸箆・食器箆 26 個 134 千円 計 699 千円 合計 8,538 千円 ④園児、児童、生徒	①-Ⅳ-4. 公共投資の早期執行等	R3.9	R4.3	8,538,000	8,537,936	8,537,000	設定なし	①事業費の内訳 需用費 消耗品費 学校給食用食器購入 8,537,936 円 ②納品の状況 ○ボール（汁用椀） 小学校分：1,820 枚 中学校分：1,346 枚 こども園分：1,136 枚 予備：258 枚 計 4,560 枚 ○深皿、菜皿 小学校分：各 910 枚 中学校分：各 673 枚 予備：987 枚 計 2,570 枚 ○園児用 茶碗：420 枚 箸：420 膳 箸箆及び食器箆：26 個	①小学校：3 校分、中学校：2 校分、こども園：3 園分の園児・児童・生徒・教職員分の食器。コーティングされた食器を使うことにより、給食由来の感染拡大を予防できた。 ②今後の感染拡大期に備えるために、給食を配膳する側においても、手洗い等の基本的な感染対策を引き続き徹底していく
公共施設放送設備更新事業	①3密を避け、広い空間を確保した授業・会議・イベント等の開催を可能とする。また、マイクの受け渡しを極力減らし感染症拡大防止に努める。 ②備品購入費 ③ワイヤレスマイク 78 個 3067 千円 ワイヤレスマイク（タイピン式） 23 個 790 千円 トランシーバー 10 個 39 千円 ワイヤレスチューナー 1 台 227 千円 諸経費、消費税等 877 千円 ④安八町役場、こども園5園、結小学校、名森小学校、牧小学校、登龍中学校、東安中学校組合、中央公民館、安八温泉、保健センター、ハートピア安八、総合体育館、安八ふれあいセンター等	①-Ⅳ-4. 公共投資の早期執行等	R3.9	R4.3	5,000,000	4,950,000	4,700,000	設定なし	①事業費の内訳 備品購入費 ワイヤレスマイク購入 4,950,000 円 ②納品件数 マイク 99 本 トランシーバー 10 台 イヤホンマイク 7 個 ワイヤレスアンプ・チューナー 1 台	①コロナ禍における感染症予防のため、抗菌マイク等を整備することができた。 ②デジタル化の推進により、オンライン会議や動画配信の検討を進め、今後の感染症拡大期に備える必要がある。
小・中学校空気清浄機設置事業	①小・中学校に空気清浄機を設置し、感染症予防に努める。 ②備品購入費 ③空気清浄機 66.1 千円×64 台×1.1=4,653 千円（千円未満切捨て） ④名森小学校、牧小学校、登龍中学校、東安中学校	①-Ⅳ-4. 公共投資の早期執行等	R3.9	R4.3	4,653,000	4,653,000	3,708,000	設定なし	①事業費の内訳 備品購入費 各小中学校空気清浄機購入 2,253,883 円 各小中学校空気清浄機購入 2,399,117 円 ②名森小：19 台 牧小：12 台 登龍中：20 台 東安中：13 台の空気清浄機を購入。	①普通教室に 1 台ずつの設置 ②今後の感染症の拡大期に備えるために、空気清浄機と空調を使用し、また引き続き換気をしながら、感染予防に努めたい。
放課後児童クラブトイレ設置事業	①放課後児童クラブのトイレが不足している。トイレに児童が集中し行列ができている状況である。新たにトイレを新たに設置することにより、密を避け感染症対策を強化する。 ②設計委託、工事請負費 ③設計監理 1,320 千円 工事請負費 16,940 千円 ④放課後児童クラブ名森教室	①-Ⅳ-4. 公共投資の早期執行等	R3.9	R4.4 以降	18,260,000	18,260,000	13,294,000	設定なし	①事業費の内訳 委託料 業務委託 児童クラブ名森教室屋外トイレ新設工事設計監理 1,320,000 円 工事請負費 児童クラブ名森教室屋外トイレ新設工事 16,940,000 円 ② 男子トイレ：小便器 3 台 大便器 1 台 女子トイレ：3 台	①学童保育中に使用するトイレを施設内のトイレと分散使用することで、トイレを待つ児童が密集すること無く、少人数単位でトイレを使用できた。 ②今後の感染症の拡大期に備えるため、換気対策や消毒・清掃などの基本的な対策を講じながら、引き続き児童への指導も徹底する。
休業要請協力金事業	①感染症拡大防止を目的とした、岐阜県感染症拡大防止協力金に対する町負担金 ②負担金 ③第3弾 1,455 千円 第4弾 1,512 千円 第5弾 168 千円 第6弾 74 千円 ④岐阜県	①-Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	R3.9	R4.3	3,209,000	3,209,391	3,209,000	設定なし	①事業費の内訳 負担金 岐阜県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金（第3弾）負担金 1,455,000 円 岐阜県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金（第4弾）負担金 1,512,000 円 岐阜県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金（第5弾）負担金 167,404 円 岐阜県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力	①休業、時短営業要請に協力した町内飲食店に交付された協力金に対する負担金を支出し、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めた。 ②今後、同様な事態に対しても県の動向に合わせ迅速に対応していきたい。

事業名	①事業の概要 ②経費内訳 ③積算根拠 ④事業の対象	経済対策区分	事業開始	事業終了	計画額 (円)	事業費 (円)	交付金充当額 (円)	成果目標	成果及び評価 ①事業費の内訳 ②成果	評価及び課題 ①評価 ②課題
									金（第7弾）負担金 74,987 円 ②【対象事業者数】 第3弾：N= 19 件 第4弾：N= 20 件 第5弾：N= 21 件 第7弾：N= 21 件	
保健センタートイレ コロナ対策工事	①保健センタートイレを洋式に改修し、コロナ対策を強化する。 ②設計委託、工事請負費 ③工事請負費 1,155 千円 ④保健センター	①-Ⅳ-4. 公共投資の早期 執行等	R3.9	R4.2	1,155,000	1,155,000	1,155,000	設定なし	①事業費の内訳 工事請負費 トイレ改修工事 1,155,000 円 ②洋式便器利用率 7 割 手洗い自動水栓利用率 9 割 手洗いレバーハンドル利用率 1 割	①施設利用者の9割が自動水栓により、丁寧に手洗いができており、乳幼児及び保護者の感染対策が向上した。 ②洋式トイレの利用率が向上している為、和式トイレの洋式化を検討していく必要がある。
事業継続応援支援金	①新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、売り上げが減少した中小法人・個人事業者の事業継続を支援するため、国の「月次支援金」及び岐阜県の「岐阜県売上減少事業者等支援金」を受給された方に対して支援金を支給する。 ②交付金 ③国支援金 50 千円×30 件×4 回=6,000 千円 100 千円×10 件×4 回=4,000 千円 県支援金 25 千円×30 件×4 回=3,000 千円 50 千円×10 件×4 回=2,000 千円 ④中小法人・個人事業者	①-Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	R3.9	R4.3	15,000,000	5,168,000	5,168,000	設定なし	①事業費の内訳 補助金 安八町事業継続応援支援金 5,168,000 円 ② 【申請期間】 令和3年11月1日から令和4年1月31日 【交付件数】 27 件	①収入が減少している中小法人・個人事業主へ国の「月次支援金」及び岐阜県の「岐阜県売上減少事業者等支援金」に上乗せして支援金を交付することで事業継続が図られた。 ②今後、同様な事態に対しても国庫の動向に合わせ迅速に対応していくとともに、広く情報発信に努める。
感染防止対策用品 購入補助金	①中小法人・個人事業者の感染防止対策を強化するため、感染防止対策に係る物品（消毒、アクリルパーティション等）を購入した場合に上限50千円の補助金を支給する。 ②補助金 ③50 千円×100 事業者=5,000 千円 ④事業者	①-Ⅰ-1. マスク・消毒液等の確保	R3.9	R4.3	5,000,000	2,891,637	2,891,000	設定なし	①事業費の内訳 補助金 安八町感染防止対策用品購入補助金 2,891,637 円 ② 【申請期間】 令和3年11月1日から令和4年1月31日 【交付件数】 65 件	①岐阜県が発行する「新型コロナ対策実施店舗向けステッカー」の交付を受けている町内の事業所を対象に、令和3年4月1日以降に購入した飛沫防止シート、衝立、消毒、従業員衛生用品、空気清浄機、非接触型体温計などの感染防止対策用品の購入補助を行うことにより、事業所が感染対策に必要な用品を確保することができた。 ②より多くの事業者に感染防止対策をしてもらうため、情報発信に努めたい。
公共的空間安全・ 安心確保事業	①公共施設内や避難所の感染防止対策として、消毒液、飛沫対策パーティション、衛生機器などを整備する。 ②消耗品費 ③消毒液 2800ℓ 3,000 千円 洗濯機 2 台 150 千円 サーモグラフィ 6 個 900 千円 ハンドソープ 20ℓ 300 千円 手袋 1,400 枚 190 千円 CO2 測定器 7 個 85 千円 ほか 1375 千円 ④安八町役場、安八町中央公民館、保健センター、ハートピア安八、こども園、給食センター、安八温泉、小中学校、やすらぎ苑	③-Ⅰ-3. 感染防止策の徹底	R4.1	R4.3	6,000,000	4,911,493	4,911,000	学校特別教室の アクリルパーティ ション充足率 100%	①事業費の内訳 需用費 消耗品費 パーティション 508,200 円 感染拡大防止機器等 189,200 円 衛生用品 2,214,300 円 衛生用品等② 582,978 円 サーモグラフィー 87,225 円 衛生用品等③ 514,430 円 表示作成機器 135,960 円 飛沫対策アクリル衝立 26,400 円 飛沫対策アクリル衝立 52,800 円 ②納品件数 <感染症対策に係る各施設に必要な衛生用品> 手指用消毒液（16ℓ） 121 個 手指用消毒液（1ℓ ボトル） 76 個 物品用消毒液（18ℓ） 19 個 おもちゃ用消毒液（20ℓ） 13 個 図書用クリーナー（300ml ボトル） 3 個 図書用クリーナー（詰替）（2ℓ） 10 個 スプレーボトル（500ml ボトル） 9 個 ハンドソープ（本体）（250ml ボトル） 46 個	①公共施設の基本的な感染症予防対策の充実を図ることができた。 ②今後の感染症拡大期に対応できるよう、長期利用できる物品については保管すしながら活用していく。

事業名	①事業の概要 ②経費内訳 ③積算根拠 ④事業の対象	経済対策区分	事業開始	事業終了	計画額 (円)	事業費 (円)	交付金充当額 (円)	成果目標	成果及び評価 ①事業費の内訳 ②成果	評価及び課題 ①評価 ②課題
									ハンドソープ（詰替）（450ml） 562個 シャボネット石鹸液（5ℓ） 19個 ペーパータオル（200枚×30束） 46箱 ニトリル手袋（Sサイズ）200枚 9箱 ニトリル手袋（Mサイズ）200枚 46箱 ニトリル手袋（Lサイズ）200枚 25箱 ウェットティッシュ 99%除菌 14個 交換用紫外線灯 2個 <飛沫防止対策に係る各施設に必要なパーティション> アクリル（W400*D205*H600） 10体 アクリル（W600*D205*H680） 1体 アクリル（W930*D300*H770） 62体 <感染症対策に係る各施設に必要な感染拡大防止機器> 非接触式体温 洗濯機二層式 2台 ふとんクリーナー 3台 サーキュレーター 1台 CO2 測定器 7台 <感染症対策に係る各施設に必要な衛生用品追加分> 図書用クリーナー（300ml ボトル） 2個 図書用クリーナー（詰替）（2ℓ） 20個 スプレーボトル（500ml ボトル） 5個 便座シート（150枚入） 34個 泡ハンドソープ（詰替）（4ℓ） 31個 シャボネット石鹸液（5ℓ） 28個 ペーパータオル（200枚×30束） 15箱 ニトリル手袋（Sサイズ）100枚 44箱 ニトリル手袋（Mサイズ）100枚 76箱 ニトリル手袋（Lサイズ）100枚 28箱 足踏み式アルコール消毒液スタンド 2個 交換用紫外線灯 6個 <感染症対策に係る各施設に必要なサーモグラフィー> サーモグラフィー 5個 <感染症対策に係る各施設に必要な衛生用品追加分> 手指消毒用アルコール（16ℓ） 6個 食添用アルコール（15ℓ） 6個 ペーパータオル（200枚×30束） 85箱 ポリ手袋（Mサイズ）100枚 60箱 ニトリル手袋（Sサイズ）100枚 8箱 ニトリル手袋（Mサイズ）100枚 16箱 ニトリル手袋（Lサイズ）100枚 16箱 飛沫ブロッカーメガネ型フェイスシールド 500個 <感染症対策に係る表示作成機器> カッティングマシン 1台 標準シート（黒）10m×2巻 1箱 標準シート（白）10m×2巻 1箱 標準シート（赤）10m×2巻 1箱 高耐候シート（黒）10m×2巻 10,900円1箱 高耐候シート（白）10m×2巻 10,900円1箱 高耐候シート（赤）10m×2巻 10,900円1箱 転写用アプリケーションシート 20M×2巻 1箱 <飛沫防止対策に係る各施設に必要なパーティション追加分> アクリル（W850*D205*H600） 3体	

事業名	①事業の概要 ②経費内訳 ③積算根拠 ④事業の対象	経済対策区分	事業開始	事業終了	計画額 (円)	事業費 (円)	交付金充当額 (円)	成果目標	成果及び評価 ①事業費の内訳 ②成果	評価及び課題 ①評価 ②課題
									アクリル (W900*D150*H500) 2 体 アクリル (W900*D150*H500) 4 体 学校特別教室のアクリルパーティション充足率 100%を達成した。	
住民公開型 GIS 整備事業	①安八町ホームページから公開型 GIS を整備し、空間データ資料を公開する。従来は窓口にて対面にて資料を提供していたが、ホームページ上で公開することにより、非接触での情報提供が可能となり、来庁者が削減され、3 密対策となる。②業務委託 (システム構築期間 約 2 か月) ③ポータルページ作成 117 千円 システム構築 122 千円 住所検索機能 33 千円 システムセットアップ 42 千円 公開用ソフト 300 千円 その他諸経費、消費税等 386 千円 ④住民	③-Ⅲ-2. 地方を活性化し、世界とつながる「デジタル田園都市国家構想」	R4.1	R4.3	1,000,000	968,000	968,000	GIS システムアクセス数 月 15 件以上	①事業費の内訳 委託料 業務委託 住民公開型 WebGIS 導入業務委託 968,000 円 ②公開型 GIS アクセス件数 令和 6 年 2 月実績 道路台帳 77 件 下水道 39 件 都市計画 138 件 路線価 12 件	①ホームページから行政情報を閲覧することが可能となり、行政サービスの充実が図られた。アクセス件数からも、来庁者の減少につながっていると判断している。 ②今後は、提供するコンテンツを増やすことにより行政サービスの向上を図るとともに、感染症拡大期における、来庁を必要としない情報提供方法の整備を進める必要がある。
ハートピア安八エアコン設置事業	①図書館、児童館、歴史民俗資料館などを備えた複合施設ハートピア安八のエアコンに故障が生じている。空調対策としてエアコンを改修することにより、換気対策を充実させ、公共空間の 3 密対策を実施する。 ②工事請負費 ③空調設備工事 30,743 千円 機器設備工事 2,021 千円 配管設備工事 2,668 千円 既存機器設備撤去工事 932 千円 消費税等 3,636 千円 ④ハートピア安八	③-I-3. 感染防止策の徹底	R4.1	R4.4 以降	40,000,000	27,820,100	25,000,000	来館者アンケートによる満足度評価 普通以上が 50% 以上	①事業費の内訳 工事請負費 27,820,100 円 ②アンケート結果 満足度 94% 満足している 76 件 やや満足している 18 件 やや不満である 6 件 不満である 0 件	①コロナ禍からの利用者人数も 10% 以上増加し、満足度評価も 50% 以上をキープできた。 ②令和 4 年度に対しては若干の減少傾向がみられる。感染症対策として、ハード面の充実も必要不可欠だが、イベント実施方について検討し、引き続き 5% 以上の利用者増を目指したい。
テレワーク環境整備事業	①安八町庁舎および出先機関にタブレット端末を導入し、テレワーク環境の充実を図ることにより、オンライン会議の実施、紙ベース資料からのデジタル化により、非接触を推進し、3 密を避けることにより感染症拡大防止に寄与する。 ②備品購入 ③タブレット導入 150 千円×25 台 ④安八町役場 基本的対処方針 (令和 4 年 1 月 19 日変更) 35 ページ目	③-I-3. 感染防止策の徹底	R4.1	R4.3	3,750,000	2,992,000	2,005,000	オンライン会議 毎月 10 回以上利用	①事業費の内訳 備品購入費 タブレット導入経費 2,992,000 円 ②タブレット端末導入 42 台 オンライン会議の開催・参加件数 月平均 18 回以上	①オンライン会議が多く開催され、稼働率も高く有効にタブレット端末を活用している。 総務課のみでオンライン会議が月平均 18 回以上の利用がされている。 ②今後の感染症拡大期にむけ、環境整備が必要となる。職員に対する台数不足も懸念されるため、順次整備を行いたい。
こども園、小学校 空気清浄機設置事業	①こども園、結小学校に空気清浄機を設置し、感染症予防に努める。 ②備品購入費 ③空気清浄機 111 千円×43 台×1.1=5,250 千円 (千円未満切り捨て) ④結小学校、結こども園、ふたばこども園、中央こども園、牧こども園	③-I-3. 感染防止策の徹底	R4.1	R4.4 以降	5,250,000	4,897,750	2,500,000	空気清浄機稼働率 100%	①事業費の内訳 備品購入費 空気清浄機購入 4,897,750 円 ②結小 : 15 台 こども園: 28 台 (結 8 台、ふたば 6 台、中央 12 台、牧 2 台)	①普通教室、特別支援教室に 1 台ずつ設置 各園児室等に配備することにより、感染症対策 (換気対策) に対応することができ、保育環境の充実につながった。 ②今後の感染症の拡大期に備えるために、換気等の基本的な対策と合わせ、空気感染を防ぐためにも、使用を続けたい。 安全に機器を使用するために、定期的なメンテナンスを要するが、清掃・消耗品交換などを行い、今後も様々な感染症対策として除菌・脱臭を行い、保育環境を確保する。
学校連絡システム 導入事業	①小中学校、こども園と家庭への連絡をスマホ等に連絡ができるシステムを導入することにより、非接触を推進し、感染症拡大防止に寄与する。また、書面で行っていた生徒等の体調管理もシステムで可能となることで、学校等での感染拡大防止に努める。 ②業務委託	③-I-3. 感染防止策の徹底	R4.1	R4.3	495,000	495,000	417,000	家庭への情報発信 件数 月 30 件以上 (全施設合算)	①事業費の内訳 委託料 業務委託 メール配信サービスバージョンアップ業務 495,000 円 ②学校からの配信: 808 件	①紙媒体で配布していた通知文書をメール配信することにより、紙媒体からの脱却ができ、接触無く通知が可能となった。併せて、保護者からの通知の利便性も向上した。 また、用紙代、印刷代の削減にも繋がった。

事業名	①事業の概要 ②経費内訳 ③積算根拠 ④事業の対象	経済対策区分	事業開始	事業終了	計画額 (円)	事業費 (円)	交付金充当額 (円)	成果目標	成果及び評価 ①事業費の内訳 ②成果	評価及び課題 ①評価 ②課題
	③すぐーる導入経費 450 千円×1.1=495 千円 ④保護者								学校における受信（欠席連絡等）：13,463 件	②さらなる DX 化の推進を進めることにより、今後の感染の拡大期に備えたい。
自宅療養世帯支援事業	①コロナウイルス感染症拡大により、自宅療養を余儀なくされている世帯の方々に対し、3 日分の衛生用品と食糧品などの生活必需品を提供する。余剰が出た場合は、今後の非常食として備蓄する。 ②消耗品、食糧費 ③1 人あたり 5,000 円 消耗品費（ティッシュペーパー、トイレットペーパー、ゴミ袋、生理用品、オムツ等） 1,500 円×1000 人 食糧費（缶詰、レトルト食品、カップ麺、野菜ジュース等）3,500 円×1000 人 ④住民	③- I - 3. 感染防止策の徹底	R4.1	R4.4 以降	5,000,000	3,855,221	1,000,000	利用者アンケートによる満足度評価 普通以上が 70%	①事業費の内訳 消耗品費 梱包用段ボールケース 54,450 円 安八町可燃物ゴミ袋 108,000 円 自宅療養者等支援物資 （食品、日用品、ゴミ袋他） 945,683 円 自宅療養者等支援物資 486,648 円 自宅療養者支援物資 115,626 円 自宅療養者支援物資 （パンパースコットンケア他） 316,855 円 自宅療養者支援物資 382,955 円 自宅療養者支援物資 832,427 円 自宅療養者支援物資 322,705 円 自宅療養者支援物資 289,872 円 ②生活品の購入に補助することで、療養期間中安心して暮らすことができた。アンケート調査も満足・やや満足と高い評価を得ることができた。 ・対象者 266 人に対し配布 ・アンケート結果、普通以上 99.2% 満足 102 件 やや満足 19 件 普通 2 件 やや不満 1 件 不満 0 件	①コロナウイルス感染者が自宅療養中生活品を購入することができず、3 日分提供することで療養に専念でき安心して暮らすことができた。 申込方法もスマホからの申請を可能としたことにより、迅速に対応ができた。 ②不測の事態に備え、各家庭で 1 週間程度生活できるような生活品の備えの啓発活動を積極的に行い住民が安心して暮らせるよう支援する。